

## 取組：グローバル社会に対応できる人材の育成に資する小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業

## 当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

英語教育実施状況調査の結果から、小・中連携した学校種間の取組や児童生徒の発信力強化のための効果的な指導方法、英語担当教師の指導力・英語力向上に課題が見られ、課題解決のための体系的な研修の在り方について要因があると分析する。

## Plan

## 計画の立案とともに、実行過程における問題発見に努める段階

## 取組計画

月	県教委の取組	関係機関	外部専門機関等
契約日～	★小・中外国語教育リーダー研修 ◆学カアッププロジェクト協議会		
7月	◆学カアッププロジェクト協議会 ①小・中学校外国語教育研修(3会場)	○センター、事務所市町村、関係小・中教員	○日本英語検定協会英検 IBA
8月	○高等学校教育課程研究協議会		○文部科学省
9月	○パイロット教員による公開授業		
11月	②生徒の発信力育成のための中高合同研修会(3会場)	○センター、事務所市町村、関係中・高教員	
1月	③第2回小学校外国語教育推進協議会	○センター、事務所市町村、英語教育推進リーダー	
2月	◆学カアッププロジェクト協議会		

## 体制

教育研修センター、各教育事務所、各市町村教育委員会、外部専門機関、英語教育推進リーダー(関係小・中教員を含む)との連携のもと、取組の成果を最大限発揮できる体制構築及び取組の充実を図る。

## Do

## 計画の実行とともに、実行内容の「見える化」に努める段階

## ① 小・中外国語教育研修

本来は、学習指導要領の趣旨に基づいた指導と評価の一体化、ICTの活用等、小・中連携の在り方について実施予定であったがオンデマンド型研修に変更

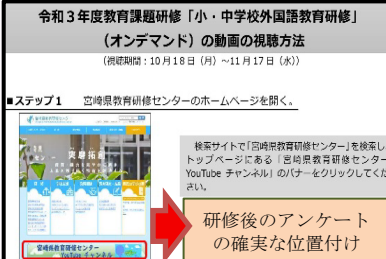
【動画資料】(動画は全て視聴すること。視聴方法については別紙1参照)	
番号	動画資料名
1	「評価」について～評価計画(例)の紹介～
2	「話すこと(やり取り)(発表)」「聞くこと」の指導の在り方
3	「読むこと」「書くこと」の指導の在り方
4	小学校との接続を踏まえた中学校の学習指導の在り方

【資料(紙媒体)】(教育研修センターのホームページからダウンロードすること)	
番号	資料名
1	「記録に残す評価」年間計画一覧(例)【解説】

令和3年度教育課題研修「小・中学校外国語教育研修」(オンデマンド)の動画の視聴方法  
(視聴期間：10月18日(月)～11月17日(水))

■ステップ1 宮崎県教育研修センターのホームページを開く。



検索サイトで「宮崎県教育研修センター」を検索し、トップページにある「宮崎県教育研修センター YouTube チャンネル」の「バー」をクリックしてください。

研修後のアンケートの確実な位置付け

## ② 生徒の発信力育成のための中高合同研修会

## ③ 第2回小学校外国語教育推進協議会

- ・小学校から高等学校までの指導の連続性を意識した研修を実施
- ・指導力・英語力の向上を目的に、研修後の成果を外部検定試験で把握



## Check

## 計画の評価とともに、実行内容の問題解決に努める段階

## 成果指標に基づく検証結果 ※英語教育実施状況調査結果に見られる全国及び本県の課題を中心に記載

## 項目1：児童生徒の発信力強化のための効果的な指導・評価 ⇨ パフォーマンステストの状況

	令和3年度本県の現状	令和元年度本県比
小学校	89.3%	-
中学校	80.4%	+7.6%
高等学校	49.0%	+13.0%

- 小・高等学校とともに、令和元年度と比べて伸びが見られた。「生徒の発信力育成のための中高合同研修会」において、指導の連続性を図る取組の充実が図られた。
- 本結果には表れていないが、教師間の取組に二極化の傾向が見られ、市町村と連携した取組が課題である。

## 項目2：学校種間連携 ⇨ 英語教育に関する連携の状況及び取組内容

	令和3年度本県の現状	令和元年度本県比
※中学校との連携	75.4%	+14.5%
※高等学校との連携	6.1%	-2.0%
※中学校との連携	52.2%	+11.7%

- 小・中学校間及び中・高等学校間での連携については、令和元年度と比べて、10%以上の伸びが見られた。県及び市町村主催の研修の充実が図られた。
- 小中連携において、連携したカリキュラムの編成や学習到達目標の設定が課題である。

## 項目3：英語担当教師の指導力・英語力の向上 ⇨ 英語担当教師の英語力の状況

	令和3年度本県の現状	令和元年度本県比
中学校	47.2%	+6.1%
※CEFR B2以上	87.9%	-0.8%

- 中学校は令和元年度と比べて、6.1%の伸びが見られた。高等学校については、令和元年度と比べて、若干減少したが、高い水準を維持している。
- オール・イングリッシュで行う場面や、学びを研修後の授業で再現できる研修会を引き続き確立する。

## Action

## 計画の改善とともに、実行内容の問題解決の確認を行う段階

## 検証結果に係る改善案 ※各種研修会、協議会の日程は、Planに記載の取組計画を令和4年度も予定

小・中外国語教育研修

生徒の発信力育成のための  
中高合同研修会第2回小学校外国語  
教育推進協議会

研修 → 実践 → 検証の研修の流れで実施

研修前・研修後の変容を図るアンケートの実施

研修後の実践報告による見届けの実施

市町村教育委員会、外部専門機関とのさらなる連携



## 成果の普及

平成29年度に、県教育研修センターが管理する県内学校向けのサイトに、外国語教育に関するページを立ち上げ、県の作成した外国語教育に関する資料、研修等で使用した資料のデータや動画をアップし、各学校で活用できるようにしている。

## 取組の紹介

- 高等学校：学習評価の手引き  
～評価の基本構造～

<http://mkcc.miyazaki-c.ed.jp/research/hyouka-2-2/>

